

あらしをしずめた イエスさま

文・いいじまとしこ 絵・うつみひろし



あらしをしずめた イエさま

文・いしじまとしこ 絵・うつみひろし



夜子バウロ書

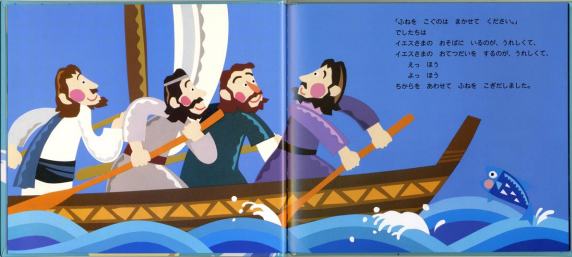


みずうみから ぶいて くる かぜが、
イエスキリストの ふくを ばたばた ゆらして います。
「みずうみを わたって、むこうぎしの まちへ いこう。」
「はい イエスキリスト。ふねの よういが できました。」



「イエスキリスト、さよならを付けて。」
「さよなら、またお会いできますように。」
おおぜいのひとにみおくられて、
ふねはさしをはなれました。





「ふねを こぐのは まかせて ください。」

でしたちは

イエスキリストのおそばに いるのが、うれしくて、

イエスキリストのおてつだいを するの、うれしくて、

えっ ほう

よっ ほう

ちからを あわせて ふねを こぎだしました。

びるびる きゅるきゅる

びるびる きゅるきゅる

ことりが たくさん まいおりにて きました。
ほら、イエスさまの かたにも、おひざにも。
イエスさまは やさしい めで、
ことりの おしゃべりを きいて おられます。



ふねが みずうみの なかほどに きた とき、
とつぜん、くろい くもが もくもくと おいて、
あめも ふりはじめました。

「あらしが きそうだ。いそごう。」

でしたちは いっしょうけんめい ふねを こぎました。
イエスさまは ともの ほうで よこに なって
おむって おられました。



ごおーっ ごおーっ

かいじゅうのような うなりごえを あげて
あらしが ふねを おそいます。
ふねは なみを かぶって みずびたし。
みんなは いそいで みずを くみだします。
でも、イエスさまは おむって おられました。

